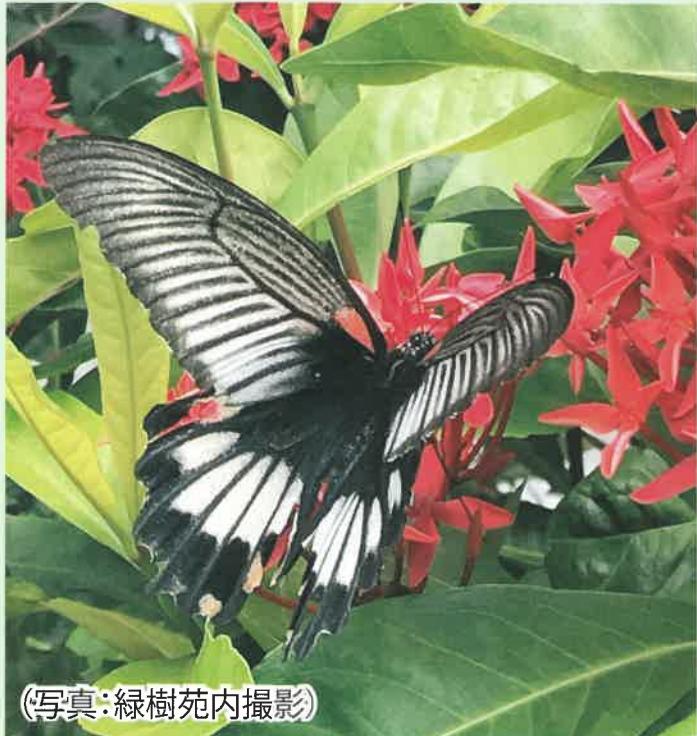


にこにこ情報

竹とんぼ



(写真:緑樹苑内撮影)



飛行日誌



第223号 令和元年9月1日

お手伝い

40th Anniversary

にこにこサービス



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>メール info@ryokujukai.or.jp

五月に父が他界し、これまで位牌のなかつた我が家は、眞新しい仏壇とともに初盆を迎えた。七月の仏壇ことはそれなりに知っているつもりでいたが、実際に執り行うとなるとまったく勝手がわからず結局妻任せになつた。

私は墓前や仏前に手を合わせると、いつも決まってあの『千の風になつて』の歌詞——「私のお墓の前で泣かないでください そこに私はいません 眠つてなんかいません」——が脳裏に浮かんでくる。ウートーーしながらも「そこに私はいません」というフレーズが頭の中を旋回して、「どこにいるんだろう」と妙な自問をしたりする。

ところが父が亡くなつて『千の風になつて』の解釈が私の中でにわかに変わりだした。父が九十四歳の長寿を全うしたことよりも、死んだ喪失感の方が日々増していく。私の心には在りし日の父の姿が頻繁に顔を出し、その度に「もういないんだ」という思いが込み上げてくる。

父の介護がどんどんなかつたと言えば嘘になるけれど、今となつては父と過ごした子供の頃の時間が、遙かに私の心を陵駕している。父は時空を超えて私に話しかける。まさに千の風になつて、いつでも現れる。しかし、それだと今度はこつちが持たない。死んだ父が現れたあとでの喪失感は一層深くなる。

だから、できるのなら私が手を合わせた時に、千の風になつて現れて欲しいと勝手なことを思う。それまで、とりあえずトートーメーは私の心の扉を開ける鍵を預ける場所にしておきたい。

しかし、最愛の人や愛しい子を亡くした人は、そんな手続きで悲しみや喪失感が癒されるはずなどないと思う。どんなに月日が経つても悲しみは消えるどころか、むしろ自らの老いと重ねて、あの子が生きいたらと、寂寥感は増すばかりだろう。それゆえに、生きるものには死の理不尽さに対峙するために、時として儀式も必要なのかもしれない。葬儀や四十九日、年忌法要を行い、盆には靈を供養する。それらは土地の文化や風土として、慣習化(しきたり)しているけれど、本当は誰もが「死すべき定めの者」として、日常の中で死と向き合いながら生きていくための智慧のような気がする。(富永 健)

緑樹苑デイサービスセンターの“手作りおやつ会”



竹とんぼ
緑樹苑デイサービスセンタ
ーでは毎月、手作りおや
つ会を行つてゐる。

6月の手作りおやつ会は『ゴーヤーの天ぷら』、7月は『ヒラヤーチー』と、利用者や職員も一緒に楽しみながら作つてゐる。

今回は、初めて手作りおやつ会に参加する利用者もおり、ゴーヤーの天ぷらを作つたときには、「油がはね」と、離れた席から観る方など、皆さん楽しんで天ぷらづくりに励んでいた。



6月「ゴーヤーの天ぷら」



7月「ヒラヤーチー」



緑樹苑デイサービスセンタ
ーでは毎月、手作りおや
つ会を行つてゐる。

6月の手作りおやつ会は『ゴーヤーの天ぷら』、7月は『ヒラヤーチー』と、利用者や職員も一緒に楽しみながら作つてゐる。

今回は、初めて手作りおやつ会に参加する利用者もおり、ゴーヤーの天ぷらを作つたときには、「油がはね」と、離れた席から観る方など、皆さん楽しんで天ぷらづくりに励んでいた。

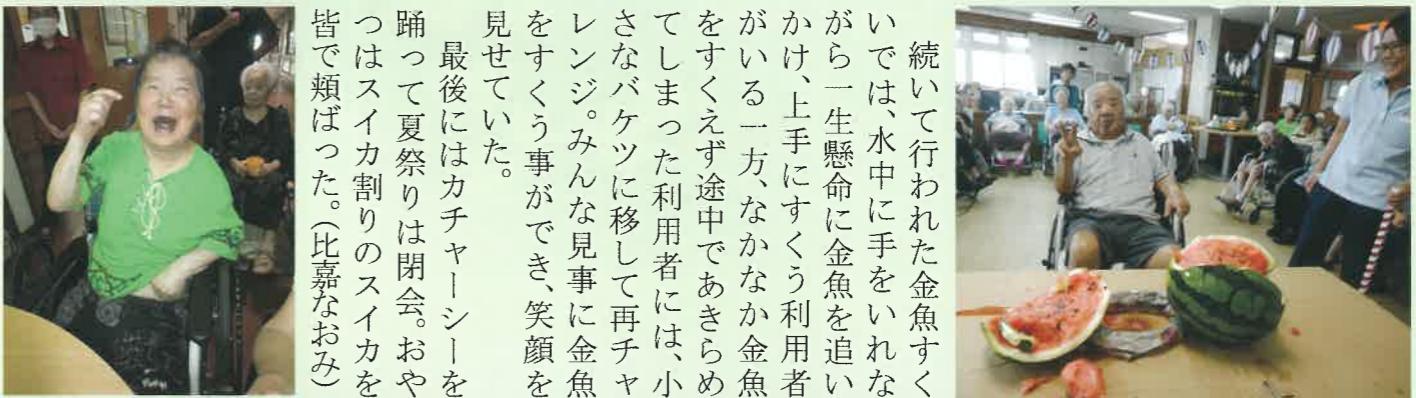
介護老人福祉施設緑樹苑“夏まつり”を開催



職員と利用者で『月が
なら』『安里屋ゆんた』を
歌い、曲に合わせて踊つ
て楽しんだ。恒例のスイカ
割りでは、目隠しされて
る間にスイカが玉ねぎに
変わる声など、笑いもあり、「左！」など、皆で大きな声
で誘導し、日頃は見られな
いような力強さでスイカを
叩く姿に職員も驚いてい
た。無事にスイカが割れる
と会場内は拍手で盛り上
がつた。

介護老人福祉施設緑樹苑

では、8月9日(金)に夏祭
りが開催された。兼城施設
長の挨拶に始まり、利用者
による乾杯の音頭で夏まつ
りが始まった。



竹とんぼ

高校生が福祉活動体験（緑樹苑デイサービスセンター） 高校生夏休み福祉体験講座「サマートライアル2019」

高校生7名が参加



8月7日・8日に、高校生の夏休み福祉体験講座「サマートライアルツアーアー2019」が行われた。

この取り組みは、高校生が夏休み期間を利用して福祉やボランティア活動への理解を深め、福祉活動に参加する人材を育成することを目的に、沖縄市社会福祉協議会が開催するもの。

緑樹苑デイサービスセンターでは、中部農林高校、北中城高校、コザ高校の生徒7名が参加し、利用者と交流しながら介護業務を体験した。参加した7名は、それぞれ福祉の仕事に興味を持つてお



り、将来は福祉関係へ進みた



総合防災訓練を実施、消火栓放水訓練も（総合福祉センター緑樹苑）



7月26日（金）、総合福祉センター緑樹苑では、沖縄市消防本部立ち会いのもと、総合防災訓練を実施した。特別養護老人ホームは夜間の火災ディサービスは日中の火災を想定し、通報から非常放送、利用者の非難誘導の訓練が行われた。途中、雨が降ってしまい避難口までの誘導となつたが、応援職員も含めた11名の職員が火災時の対応訓練に参加した。

沖縄市消防本部からは、初期消火活動に若干の不備があつたものの一連の流れがスムーズに行なわれていたとの講評があった。講評後には、消火栓の取り扱い説明が行われ、職員が、実際に放水する訓練も行われた。（渡久地一）

竹とんぼ

短冊に願いを込めて「七夕会」（ていんさぐぬ花）



7月8日（月）、ケアハウス桃原施設長による挨拶の後、織姫と彦星に扮した職員が登場。拍手とともに笑いがおこり、会場は和やかな雰囲気に包まれた。

七夕の歌を全員で合唱し、楽しい雰囲気のなか織姫と彦星が短冊に書かれた利用者の皆さんのお願い事を紹介した。

七夕の由来についてのアニメを鑑賞した後、「七夕クイズ」が出題された。出題されたクイズに皆さん○×で答え、10点正解された3名の方には景品が贈られた。

最後は全員でカチヤーシーを踊り楽しい七夕会となつた。（知念民枝）

安全運転講習会を開催（緑樹苑デイサービスセンター）



講師の新城和成氏(西日本自動車共済協同組合)

講習では、実際にあつたタクシー運転手による飲酒運転の事件を例に挙げ、その危険性や安全運転に関する意識の薄さが事故に繋がることなどを説明。改めて利用者を迎える業務に関わる職員の意識向上を図った。

平成20年と平成29年で比べると、飲酒絡みの事故件数は減少しており、沖縄県民の飲酒運転に対する意識が変わりつつある事が分かった。

そのほか、飲酒運転に対する罰則や危険運転致死傷罪の事例紹介、採取したアルコールが体内で処理される過程などを説明。改めて利用者を迎える業務に関わる職員の意識向上を図った。

また、WHOが開発した自身の飲酒問題の程度を調べる『アルコールスクリーニングテスト(AUDIT)』が紹介された。

今回の講習会を受けて改めて、飲酒運転に関する「アルコールスクリーニングテスト(AUDIT)」が紹介された。

自身の飲酒問題の程度を調べる『アルコールスクリーニングテスト(AUDIT)』が紹介された。



ていんさぐぬ花では『七夕会』が行われた。

桃原施設長による挨拶の

後、織姫と彦星に扮した職員

が登場。拍手とともに笑いがおこり、会場は和やかな雰囲気に包まれた。

七夕の歌を全員で合唱し、楽しい雰囲気のなか織姫と彦星が短冊に書かれた利用者の皆さんのお願い事を紹介した。

七夕の由来についてのアニメを鑑賞した後、「七夕クイズ」が出題された。出題されたクイズに皆さん○×で答え、10点正解された3名の方には景品が贈られた。

最後は全員でカチヤーシーを踊り楽しい七夕会となつた。（知念民枝）

7月8日（月）、ケアハウス桃原施設長による挨拶の後、織姫と彦星に扮した職員が登場。拍手とともに笑いがおこり、会場は和やかな雰囲気に包まれた。

七夕の歌を全員で合唱し、楽しい雰囲気のなか織姫と彦星が短冊に書かれた利用者の皆さんのお願い事を紹介した。

七夕の由来についてのアニメを鑑賞した後、「七夕クイズ」が出題された。出題されたクイズに皆さん○×で答え、10点正解された3名の方には景品が贈られた。

最後は全員でカチヤーシーを踊り楽しい七夕会となつた。（知念民枝）

7月8日（月）、ケアハウス桃原施設長による挨拶の後、織姫と

九州老人福祉施設職員研究大会(佐賀大会)に参加

実行に至るまでのプランはどれも綿密で、多職種間での連携なども目標を達成する上で改めて大切だと知り、自分自身にとつて、今後の更なる成長の為にとても貴重な時間を経験させていただきました。

介護に携わる職員の方々との交流や観光もでき充実した時間を過ごすことがで

年寄り扱いではなく母親として接する事で、親としての尊厳が守られているのを感じた。また、母親が施設の職員に怒り出した時も、職員と連携して本人以上に怒る演技をする事によつて母親が逆に諒めてくるなど、



ケアハウス
ていんさぐぬ花
介護員 喜友名俊

介護老人福祉施設
綠樹苑
副主任 瞭屋 寛伸

7月17日～19日までの3
日間、佐賀県で開催された九
州老人福祉施設職員研究大

発表者の方々の、ご利用者への課題解決に向けた創造性、アイデイア、知恵には終始驚かされ、その根拠の明確さに納得しました。

実行に至るまでのフレンチはどれも綿密で、多職種間での連携なども目標を達成する上で改めて大切だと知り、自分自身にとつて、今後の更なる成長の為にとても貴重な時間を経験させていただきました。

介護に携わる職員の方々との交流や観光もでき充実した時間を過ごすことがで

年寄り扱いではなく母親として接する事で、親としての尊厳が守られているのを感じた。また、母親が施設の職員に怒り出した時も、職員と連携して本人以上に怒る演技をする事によつて母親が逆に諫めてくるなど、

の向き合い方を理解していくことは、自施設にも活かせるのではないかと感じとても勉強になつた。この研究会の内容を法人全体にも活かして行きたいと思います。

政説明などが行われた。その中でもシンガーソングライターの綾戸智恵氏による記念講演が印象深かつた。母親の介護をしながらも歌手として活動している為、仕事に行かなければならぬい。その時、母親に「私を置いてどこに行く」と言われて、「私も行きたくない」と逆に子供のように駄々をこねると母親は「行っておいで」と送り出してく

7月18日と19日の2日間にわたり、佐賀県で開催された『九州老人福祉施設職員研修大会佐賀大会』に参加した。全国から総勢1500名、うち沖縄からは77名が参加となつた。

職員と家族がうまく連携しエニークな対応をしていくことにとても感心した。職員と家族が普段からコミュニケーションをとつているからこそその対応だと感じ、改めて家族への声かけ

の向き合い方を理解していくことは、自施設にも活かせるのではないかと感じとても勉強になつた。この研究会の内容を法人全体にも活かして行きたいと思います。

介護予防普及・啓発イベント「FMコザでちゃーびら体操

地域包括支援センター
西部北緑樹苑

7月2日(火)、コザパークアベニューにあるFMコザのロビーで、介護予防についての普及・啓発イベント『FMコザでちゃーびら体操』が開催された。FMコザでは毎週火曜日に沖縄市の生活支援センター「まるラジ(沖縄市まるっとつながるラジオ)」を放送し、地域の情報を発信している。

今回のイベントは、地域の方がFMコザへ「ちゃーびらさい!」と気軽に出入りできるようになつて欲しいというFMコザパーソナリティの願いから西部地区(西部北、西部南)の生活支援センターを中心実現した。

A photograph showing three women in a studio or office environment. Two women are standing behind a desk with computer monitors; one is gesturing with her hands while speaking into a microphone. A third woman is standing to the right, also gesturing with her hands. They appear to be conducting a live broadcast or recording. The background shows shelves and various equipment.

内生活支援コーディネーター、社会福祉協議会職員などが参加した。終了後には交流会が行われ、「来週も体操はある? 每週あつたら来てみたい」「涼しくていい」「自由に入れると思ってなかつた」などの感想があつた。

今後も、地域の住民と企業の顔の見える関係づくりに向かって、第2段、第3段のイベントが検討されている。

家族会清掃及び総会を実施（介護老人福祉施設緑樹苑）

7月27日(土)、介護老人福祉施設緑樹苑では家族会清掃及び総会が行われた。朝から入居者家族の皆さんが早々と来苑し、17家族21名参加した。

家族の皆さんは、利用者との会話を交わしながら各居室、床やベッドまわり、窓のガラスや網戸を丁寧に掃除していた。

清掃後には総会が行われ、

7月27日(土)、介護老人福祉施設緑樹苑では家族会清掃及び総会が行われた。朝から入居者家族の皆さんが早々と来苑し、17家族21名参加した。

家族の皆さんは、利用者との会話を交わしながら各居室、床やベッドまわり、窓のガラスや網戸を丁寧に掃除していた。

清掃後には総会が行われ、渡慶次淳家族会会长より挨拶があり、続いて兼城正彦施設長から、日頃の協力への感謝の言葉が述べられた。

総会では、事業報告(案)、決算報告(案)等の審議及び承認が行われた。質疑応答では、「家族会費の繰越金は残さず利用者に使つてもらいたい」と家族からの意見があつた。今後、家族会と施設で相談し、利用者に喜んでもらえる使い道が検討される。(橋詰金子)



～家族会会費のお知らせ～

介護老人福祉施設緑樹苑家族会は、緑樹会の事業を支援しつつ、入居者の日常の生活に協力し、併せて緑樹会後援会の支援をすることを目的として、入居者家族で構成する団体です。会費は、月500円(年間6,000円)となっておりますので、よろしくお願ひ致します。納入された会費は、生年祝いやトーカチ・カジマヤー祝い・誕生会、母の日・父の日及びクリスマス会などの記念品代に充てられます。

竹とんぼ

9月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑ティーサービスセンター	みどり学童クラブ
1(日)			カラオケ		
2(月)		民舞クラブ	輪投げ		
3(火)			脳トレ		
4(水)		ミニシアター	映写会		
5(木)		カラオケクラブ	スカッシュボール	ハンドマッサージ	
6(金)			手工芸	手芸クラブ	
7(土)			ボウリング		園外活動
8(日)			カラオケ		
9(月)		書道クラブ	防災訓練		
10(火)		三板クラブ	三板クラブ	手作りおやつ会	
11(水)		防災訓練	映写会		
12(木)		手作りおやつ会	スカッシュボール	防災訓練	
13(金)		はいびすかす敬老会	手工芸・塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板クラブ	
14(土)			ボウリング		園外活動・読み聞かせ
15(日)			カラオケ		
16(月)	緑樹会敬老会	緑樹会敬老会・お茶会	緑樹会敬老会	緑樹会敬老会	学童休園日
17(火)		ミニドライブ	ミニドライブ	カフェタイム	
18(水)		ミニシアター	映写会		
19(木)		カラオケクラブ・美化活動	誕生会		
20(金)	特養緑樹苑敬老会	手芸クラブ	手工芸	手芸クラブ	
21(土)			ていんさぐぬ花敬老会		園外活動
22(日)			カラオケ		
23(月)		書道クラブ	輪投げ	誕生会	学童休園日
24(火)		三板クラブ	三板クラブ		
25(水)	避難訓練	防災訓練	映写会	防災訓練	
26(木)		民舞クラブ	散髪		
27(金)	誕生会	誕生会	塗り絵クラブ	手芸クラブ・三板クラブ	
28(土)			ボウリング		園外活動
29(日)			カラオケ		
30(月)			輪投げ		



今月16日は「敬老の日」



9月の第三月曜日は『敬老の日』です。多年にわたり、社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う日、となっています。

また、老人福祉法では、9月15日を『老人の日』としており、この日から21日までを『老人週間』と定めています。国民の間に広く老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促すため、老人の日及び老人週間を設ける、とされています。感謝を込めて高齢者を敬うとともに、長寿を祝いましょう。



緑樹会のホームページから
竹とんぼをご覧いただけます。



または
インターネット検索で
緑樹会 竹とんぼ



検索